伝統工芸・アートを通して続くブータンとの草の根交流

浜田市とブータンの国際交流は、旧三隅町時代の伝統的な手すき紙の技術協力から始まりました。2013年からは、海外のアート作品の受入れやワークショップを実施してきた浜田市世界こども美術館を中心に、美術教育をテーマとしたプロジェクトを実施してきました。JICA草の根技術協力事業を通じた途上国研修員との交流は、地域の住民や子どもたちにとって貴重な交流の場となっており、JICA事業を通じて関係者間の連携も強化されています。

取り組み年表

1990 2000 2010

2020

●地域独自の取り組み

1986-2005 石州和紙協同組合にて研修員の受入れ(島根県海外技術研修員)

●JICAとの連携事業

●別機関の事業

●1990, 1995 旧三隅町からブータンへの資機材提供・専門家派遣

●2012 浜田市長のブータン訪問 → 2013 浜田市ブータン王国「友好交流に関する協定書」

●1992 旧三隅町とブータン王国「友好交流に関する覚書」, 1994 旧三隅町ブータン王国「友好交流協定」締結

--▶ 2013-16 草の根技術協力事業「ブータン王国における手すき紙の産業振興」

2018- アート・イン・レジデンスで海外アーティストの受入れ

●2006 浜田市世界こども美術館の設立

2013-アンデパンダン展でブータン作品受入れ、JOCVとの連携による世界からの作品受入れ

- ●2015 ブータンとの協力模索のため現地調査(浜田市独自予算)
 - ●2016 ブータンにおける日本の子どもの作品展を実施

----▶ 2017-20 草の根技術協力事業1

「ブータン王国における美術教育支援事業」

2022-24

草の根技術協力事業2「ブータン王 国での美術指導力の向上とアート を通じた地域活性化プロジェクト」

画材の寄付(ロータリークラブ、島根県立大学、市民)

●2020 第12回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)

地域のリソース

- ○石州和紙、石州半紙 の手すき技術
- ○世界子ども美術館 による子どものアー トによる国際交流 の取り組み

アートを通して世界とつながる

ブータンとの交流関係

現在の浜田市は、2005年に浜田市、旧三隅町を含む5市町村が合併して誕生しました。旧三隅町では古くから和紙の製造が行なわれており、石州半紙は国の重要無形文化財、石州和紙は伝統的工芸品に指定されています。この手すき紙の技術交流として、旧三隅町とブータンの交流は1980年代から開始されました。ブータンからの短期・長期研修員の受入れや、資機材の提供、専門家の派遣を実施してきました。研修員受入れの際は、地域住民との交流機会も設定されており、ブータン料理教室の開催やホームステイなどが実施され、町内広報誌を通じて国際交流への理解も高まりました。小さな町が国レベルと交流をするという非常に珍しい事例として注目を浴び、町外への発信機会も多くありました。

浜田市の紙すきによる国際協力

市町村合併後は、一時、交流が途絶えていましたが、2011年にブータン国王夫妻が来日したことをきっかけに、新浜田市として友好交流が再開されました。

浜田市では草の根技術協力事業を3件実施しています。1件目の 草の根技術協力事業では、旧三隅町の手すき技術を活かし、ブ ータンに手すき紙の技術者協会と和紙センターを設立することを目的に取り組みました。近年、石州和紙業界では、海外のアーティストを招いて地域に滞在してもらいながら石州和紙を使った作品づくりを検討するアート・イン・レジデンスを実施しており、JICA事業をはじめとした国際交流の経験がこの活動のベースになっています。

美術教育による国際協力

2件目と3件目の草の根技術協力事業は、浜田市世界こども美術館における美術教育をテーマとした国際協力です。浜田市世界こども美術館では、海外の子どもの作品展示や、海外講師を招いたワークショップなどを開催してきました。海外の子どもの作品展示は、現地にいる海外協力隊等の協力を得て実施しています。草の根技術協力事業では、本邦研修中の学校訪問や、オンライン交流事業など地域との交流を実施しました。また、本邦研修中のロータリークラブとの交流が、後の画材寄付にも繋がっており、その後、島根県立大学からの画材寄付や、市民からの寄付募集に繋がっています。

アートによる交流を通じて、言葉が通じなくても理解し合える経験をすることにより、浜田の子ども達の異文化理解を深める貴重な場となっています。

その他

地域へのインパクト

地域住民への活力

地域住民との交流や、草の根技術協力事業でブータンの研 修員が学校訪問することで、貴重な外国との接点となって おり、子どもたちへの刺激、異文化理解に繋がっています。

国際対応力の強化

近年、石州和紙・石州半紙の海外への発信やアート・イ ン・レジデンスなどの活動を行なっていますが、ブータン との国際交流の経験がこのベースとなっていると考えら れています。

知名度の向上

石州和紙や浜田市世界こども美術館による国際協力はメ ディア取材も多く、浜田市の知名度向上に繋がっています。

促進要因

国際交流への理解と評価: アートで世界をつなぐこと が具現化できている点や、浜田市の子ども達へ国際交流 の機会が提供できている点が市民の理解と評価に繋が っています。メディアによる発信も、市民の国際交流への 理解を深めています。

事業実施者と市役所の役割分担:市役所と浜田市世 界こども美術館がそれぞれ単独でできることは限りがあ る中、JICA事業を共に実施することで、教育機関との連携 や市民とのつながりがより太くなり、事業継続に繋がりま Lto

